

(別記)

仙北市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

平成 29 年現在の本市における水稲の作付面積は、3,290ha となっており、市全農地の 68%を占めている。湿田が多いことから非主食用米への転作が増加傾向にある。

水田転作の状況は飼料作物、そば、大豆が増加傾向にある。比較的ほ場整備が進んでいる平場の神代地区や角館地区では大豆、枝豆、麦などが、また、中山間地域で比較的作業条件の良い生保内地区ではそばの転作が増加している。一方、田沢地区、桧木内地区については農家戸数の減少に伴い担い手不足が深刻化しており、耕作放棄地の増加等が懸念されている。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

需要に対応した良食味米、良質米産地として評価を高めて行くことが重要である。このため、主力品種「あきたこまち」の 1 等米比率のさらなる向上や、付加価値の高い米の生産に取組み、需要に対応した生産を行う。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

今後、主食用米の需要量の減少が見込まれていることから、産地交付金を活用した多収品種への誘導を図り、生産拡大に取組む。

イ 米粉用米

米粉用米はきぬのはだ、たつこもちといったもち米の品種による取組みが行われ、多収品種並の収量が期待されている。直播技術の導入や、農地中間管理機構を活用し担い手への農地集積、集約化を進め生産拡大に取組む。

ウ 新市場開拓用米

JA 等集荷業者と連携し輸出用米等の生産面積の拡大を推進していく。

エ WCS 用稲

WCS 用稲は市内全域で取組みが進められている。主食用品種を用いた需給調整が可能であり、出荷数量も比較的安定していることから、供給先の畜産農家との調整を図りながら、生産面積を拡大する。実需と連携を図り、供給面積の拡大に努める。

オ 加工用米

複数年契約の加工用米については引き続き産地交付金を活用して支援する。

カ 備蓄米

備蓄米については、主食用米価格を参考に落札価格が設定されることから、時勢を見ながら対応していく。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦・大豆については、重点的な転作作物と位置づけ作付推進をしてきたが、今後も産地交付金を活用し、担い手への集約、作付の団地化及び水田の高度利用を進め生産面積の拡大を図る。

飼料作物については、栽培管理・肥培管理を徹底し、栽培面積を維持しつつ粗飼料の自給率向上を図ると共に、耕畜連携助成を活用し資源の有効利用を図り畜産農家との連携を強化する。

(4) そば、なたね

そばについては、産地交付金を活用し、中山間地域での有益な転作作物として、適地適作を行う。暗渠排水等による排水対策を実施することで生産向上、品質の向上を図る。農地中間管理機構を活用し担い手への農地集積を進め、不作付地等からの作付を誘導する。

なたねについては、取組みなし。

(5) 高収益作物（野菜等）

産地交付金を活用し、仙北市重点作物を中心に生産面積の拡大及び本作化を推進していく。

地力増進作物については、基盤整備事業によって整備される大区画ほ場へ、翌年度以降の作物の収益力向上を目的に、ほ場の透水性や土壌環境等の改善を期待し作付を行う。

(6) 畑地化の推進

果樹等の高収益作物を中心に畑地化を推進していく。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	2,608.0	2,800.6	2,600.0
飼料用米	68.6	55.0	88.6
米粉用米	12.6	7.0	8.0
新市場開拓用米	3.2	5.0	10.0
WCS 用稲	93.6	95.0	97.0
加工用米	334.3	292.4	340.0
備蓄米	169.0	49.2	50.0
麦	24.0	24.0	26.0
大豆	210.0	212.0	216.0
飼料作物	392.0	393.0	395.0
そば	269.0	270.0	275.0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物			
野菜			
・いちご	0.6	0.6	0.6
・キャベツ	5.6	5.7	6.0
・ほうれんそう	4.9	5.0	5.0
・ねぎ	15.9	16.0	17.0
・えだまめ	27.6	28.6	30.0
・アスパラガス	11.1	11.1	11.1
・そらまめ	4.8	4.8	5.0
・山の芋	3.4	3.4	3.4
・しいたけ	0.9	0.9	0.9
・にんにく	3.8	3.8	3.8
・その他野菜	184.8	185.0	187.0
花き			
・菊	2.5	2.5	3.0
・小菊	1.6	1.6	2.0
・ダリア	1.1	1.1	1.5
・トルコギキョウ	0.6	0.6	0.6
・りんどう	10.4	10.4	11.0
・アスター	0.8	0.8	0.8
・ケイトウ	2.3	2.3	2.3
・その他花き	3.5	3.5	3.5
果樹			
・ぶどう	0.8	0.8	1.0
・その他果樹	15.7	15.7	15.7
地力増進作物	40.1	70	100

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	目標	
				現状値	目標値
1	野菜、花き、果樹、その他作物 (具体的作物は別紙1のとおり) (基幹作物)	仙北市重点作物作付助成	重点作物の作付面積	(現状(29年度)) 98.7ha	(32年度) 105.0ha
2	大豆(基幹作物)	作業集積化助成	大豆の作付面積	(現状(29年度)) 210.0ha	(32年度) 216.0ha
3	小麦(基幹作物)	作業集積化助成	小麦の作付面積	(現状(29年度)) 24.0ha	(32年度) 26.0ha
4	そば(基幹作物)	作業集積化助成	そば作付面積	(現状(29年度)) 269ha	(32年度) 275ha
5	その他振興作物作付助成一覧 表のとおり(基幹作物)	その他振興作物作付助成	作付面積	(現状(29年度)) 56.9ha	(32年度) 60.0ha
6	地力増進作物(具体的作物は別 紙3のとおり) (基幹作物)	ほ場整備区域地力増進作物作 付助成	ほ場整備 地力増進作物作付面積	(現状(29年度)) 40.1ha	(32年度) 100.0ha
7	飼料作物等(粗飼料作物等の 範囲は別紙4に定めた作物とす る)(基幹作物)	耕畜連携助成(資源循環)	飼料作物への堆肥散布面積	(現状(29年度)) 114.2ha	(32年度) 117.0ha
8	飼料用米の生産ほ場の稲わら (基幹作物)	耕畜連携助成助成(飼料用米 のわら利用)	飼料用米わら利用面積	(現状(29年度)) 2.71ha	(32年度) 3.0ha
9	飼料用米、米粉用米(基幹作 物)	飼料用米・米粉用米の多収品 種への取組支援	飼料用米、米粉用米の 多収品種の取組面積	(現状(29年度)) 50ha	(32年度) 70ha
10	加工用米(基幹作物)	加工用米の複数年契約への取 組支援	加工用米複数年契約面積 (加工用米に占める割合)	(現状(29年度)) 33.3ha (10%)	(30年度) 33.3ha (10%)
11	そば(基幹作物)	そば作付の取組支援	そば作付面積	(現状(29年度)) 269ha	(32年度) 275ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり